

第2回佐世保市子ども・子育て会議 議事録（要約版）

日時：平成25年8月20日（火）19時～21時

場所：佐世保市中央保健福祉センター8階「講堂」

No.	質問・意見等	事務局回答・今後の方針など
<b>議題1 次世代育成支援佐世保市行動計画（後期行動計画）の進捗状況について</b>		
1	資料1 P4 1-(1)-② 乳幼児健康診査体制の充実の目標値について、H24年度実績が94.1%、H26年度目標が92%とあるが、これはH24年度に目標を達成していることを意味するのか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次世代育成支援佐世保市行動計画にある目標値は、策定年のH21年度に設定した目標値。H24年度実績をみれば目標値を達成していることになるが、あくまで単年度の目標数値であって、H25年度においては数値が落ちる可能性はある。</li> <li>・H25年度においても、目標値を超えるよう取り組みを進め、さらに、H24年度数値を上回れるよう取り組んでいきたい。</li> </ul>
2	資料1 P10 1-(3)-⑤ 保育所の保育料について。第二子、第三子の捉え方を幼稚園と同様とするよう検討してもらいたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新制度における詳細な内容がまだ決まっていないので、まずはその内容を見ていく必要がある。</li> <li>・また、この点は市の制度としてどのように対応していくかということになるので、国の制度が見えてきた段階で委員の皆様と協議していきたい。</li> </ul>
3	資料1 P4 1-(1)-③ 親子教室が開催されているが、どこで開催されているのか。また、目標値H26年度が188回とH24年度の305回に比べ大きく減っているがこの理由は。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催場所は東部・中部・北部子育て支援センターと吉井健康館の4か所で実施した。</li> <li>・H24年度の回数が増加したのは、ニーズが多かったため東部・中部・北部の3か所においては、1歳半児と3歳児を分けて開催したことが要因である。</li> <li>・今後も東部・中部・北部の3か所においては年齢を分けて月8回、吉井では合同で月4回実施する予定。</li> </ul>
4	資料1 P22 2-(2)-⑦ 認可外保育施設への一部運営支援とは具体的にどのような支援を行っているのか。	<ol style="list-style-type: none"> <li>①ほのぼの育成事業（県の補助事業）を実施。入所児童の健康診断を実施するための嘱託医・薬品等に補助している。</li> <li>②認可外保育施設の環境整備事業を実施。入所児童の環境改善のための設備整備費・人件費等に補助をしている。</li> <li>③認可外保育施設の運営支援事業を実施。認可保育所と同様に人件費・管理費等について補助している。</li> </ol>
5	資料1 P4 1-(1)-② 3歳児健診以降、就学までの健康診断がない。この2～3年間のフォローが必要ではないのか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H22・H23年度は県の事業で5歳児健診を実施。その後は、3歳児健診時に発達心配だった子どもの保護者にアンケートを実施し、作業療法士・臨床心理士が相談を受け、必要に応じて発達健診や子ども発達センターへの紹介などを行っている。</li> </ul>

No.	質問・意見等	事務局回答・今後の方針など
6	資料 1 P14 1-(6)-② 子育てバリアフリーについて、父親が使いやすい視点が必要では。	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設のトイレにベビーチェアを設置した際には、公共施設に要望を聞いて行ったが、男性の視点については全体の意識として欠落していたように思う。</li> <li>早急に結論は出せないが、新しい制度に反映していくような方法を考えていかなければならないと思う。</li> </ul>
7	資料 1 P13 1-(6)-① 虐待への対応について「早期発見」はどの程度できているのか。また、目標値「児童虐待問題終結の割合」が 45%というのはいかに感じるがいかか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「終結」とは、完全に虐待がなくなるなど状況が改善したものと、市外転出により市の管轄でなくなったもの、他の機関に移管したことを「終結」としている。</li> <li>H24 年度は、進行管理をしたり、要保護児童対策地域協議会と協議を重ね、結果的に半数くらいが終結となった。また、終結後も健診など母子保健でのフォローを継続している。</li> <li>早期発見については、主に母子手帳交付時の状況確認や、健診や関係機関からの情報などで把握をしている。年間の相談件数は 100 件以内で横ばい。重症のものはなく、予備群と軽度なものが多い。</li> </ul>
8	資料 1 P13 1-(6)-① 佐世保市の場合の虐待の事例について具体的にどのようなものが多いのか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>虐待の種類は 4 つに分かれている。佐世保市では、ネグレクト（育児放棄）（46.7%）が最も多く、心理的虐待（30.4%）、身体的虐待（18.1%）、性的虐待（4.7%）の順となっている。</li> <li>ネグレクトは短期間の改善が難しいので、親との話し合いや、育児についてのアドバイス、生活福祉課など関係機関との連携などにより対応している。</li> </ul>
9	資料 1 P4 1-(1)-② 4 か月児健康診査受診率について。4 か月児健診と併せて BCG を実施していないため受診率が下がったのではないかと。低下への対応は。	<ul style="list-style-type: none"> <li>H24 年度は 99.6%と非常に受診率が高かったが、本年度は BCG を実施しなくなったため、若干受診率が下るのではないかとと思われる。ただし年度途中であり、現段階では正確な受診率を出していない。</li> <li>未受診の方については、電話で他の健診日での受診を薦めたりするなど、健診に結びつくような対応を行いたい。</li> </ul>
<b>議題 2 子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査について</b>		
10	3000 票の配布が予定されているが、回収率はどのくらいを見込んでいるのか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代育成支援佐世保市行動計画策定時にも 3000 人にアンケート調査を実施した。この時の設問数は 40 問と多かったが回収率は 46.9%だった。</li> <li>今回は 50%に届いてほしいという希望はあるが、アンケートが長く複雑なので、皆様の意見を聞いてできるだけ分かりやすくできればと考えている。</li> </ul>

No.	質問・意見等	事務局回答・今後の方針など
11	<p>もう少し簡潔にできないのか。 特にサブクエスションの矢印が複雑である。</p> <p>余白を多くして矢印の行先を分かりやすくする、カラーにするなどしてはどうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回示した佐世保市版の調査票案については、国が示したものよりは見やすくなったと思うが、まだ改善が必要であると思う。</li> <li>・このアンケートは委託によって印刷・集計を実施する。当然費用も発生するが、2色刷りや余白の取り方など事務局で検討したい。</li> </ul>
12	<p>このアンケートは必ず同じ人が回答しなければならないのか。</p> <p>例えば問題数を1/3ずつにして、3000人ずつ（計9000人）に配布する方法はとれないのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の調査は、子どもの家庭状況についての調査が基本になるので、調査票を分けてしまうと必要とされている支援を把握することが難しくなると思われる。</li> <li>（会長補足）</li> <li>・社会調査上も色々な設問ごとにクロス集計をかけるので、調査票を分けると難しいと思われる。</li> </ul>
13	<p>原案は仕事を“している方”と“していない方”を一緒にしているのが複雑になっているのは。仕事の状況で調査票自体を分けてはどうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・貴重なご意見であり、検討していきたい。</li> <li>（会長）</li> <li>・興味深いご意見と思うので、事務局でご検討・ご議論を頂きたい。要は回収率を高くするために、答えやすくするという工夫をしていただきたい。</li> </ul>
14	<p>設問に優先順位をつけて簡単にしてはどうか。その一つとして問30からの育児休業等に関する問題は必須項目ではない。必要なか疑問。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国が示した青色の部分は必須項目なので外すことはできないが、今日のご意見を聞いて、複雑で多すぎる点など、省けるところは省けるように検討したい。</li> </ul>
15	<p>先の意見には反対。子育て支援については、子供の支援が第一に重要だが、親の働き方の問題を解決することも重要なので設問として設けるべきでは。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>（会長）</li> <li>・少子化施策から子育て支援へ移行してきた当初は、保育施策中心だったが、ワークライフバランスということで働き方が問題となってきた。国の必須事項ではないが、働き方の問題は重要あるという指摘も十分耳を傾けるべき。</li> <li>・簡単にするのか、どこを減らすのか、次回に向けての議論を深めていきたいと思う。</li> </ul>
16	<p>未来計画としては、如何に子供を増やしていくのかという視点の設問も必要ではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>（会長）</li> <li>・希望する子どもの数と実際の子どもの数は乖離があるが、そのことを問う設問も大事だと思う。</li> </ul>

No.	質問・意見等	事務局回答・今後の方針など
17	<p>調査票を簡素化し本来の目的を達成できないことは問題。回収率を上げるポイントは、このアンケートが子育て支援施策に繋がることを伝えることでは。</p> <p>また、問 30 以降は企業側にとっての啓発の意味も含め必要ではないか。</p>	<p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑文に、アンケートに回答することで拓けてくるイメージ、子育て政策に繋がるメッセージがコンパクトにあると良いと思う。</li> </ul>
18	<p>会議終了後に意見がある場合、今回の会議で発言できなかった意見等はどうすればよいか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の資料にある「子ども子育て会議について（ご意見）」に記入のうえ、FAX 若しくはメール、又は電話で頂きたい。</li> <li>・今後の議事運営の参考にするため、意見は今回の議事に関わらず、自由にお寄せいただきたい。</li> </ul>
<b>議題 3 その他</b>		
19	<p>本委員会の子育て当事者のメンバーについて、保育所関係は私立が 1 名だけで、公立保育所や認可外保育施設、児童クラブの保護者が入っていないが、幼稚園からは、公立と私立それぞれの保護者が参加している。この理由についてお答えいただきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回のメンバーは国の子ども子育て会議のメンバーに準じて各団体をお願いして、構成している。</li> <li>・委員数は条例の上限である 25 名という制約の中で、現在 22 名の委員に参加頂いている。こうした中、公立保育所や認可外保育施設、児童クラブには保護者会がなく、また認定こども園についても、市全体の組織がなく人選が難しいという状況があった。</li> <li>・ご意見の団体については、必要に応じて意見を聞くということを条例に設けているので、その折に参加していただければと思っている。</li> </ul>
20	<p>次回会議の開催日程について事務局から提案頂きたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回の第 3 回委員会は 9/25（水）午後 7 時から、市中央保健福祉センター 8 階講堂（同会場）にて行う。</li> </ul>